

# 「憲法九条を守るわかやま県民の会」ニュース

発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

## 渡辺治氏が講演

### 和歌山市共同センター

### 秋の憲法学習会開催



鳩山前政権は反構造改革や平和を求め国民の声を構造改革推進の二つの力に押されて誕生し、一部国民の要求も実現し、動揺しながら政権運営をしたが、管政権は、財界とアマリ力の強い期待と圧力のもとで誕生し、「日米同盟深化」や、法人税引き下げ、福祉切り捨て、消費税増税など構造改革を推し進めようとしている。しかも、改憲や消費税増税は自民党と手を組む大連立で推し進める可能性がある。

10月16日(土)憲法九条を守る和歌山市共同センターで和歌山市のプラザホール4階ホールで憲法学習会が開催され140人が集いました。講演に先立ち「よみかきせ九条の会・わかやま」の別院さんなどによる「おあさんの木」の朗詩では、息子を戦争で死別させられた母親の深い悲しみが聞き手の胸を打ちました。

「民主党政権の新段階と構造改革 憲法の行方」の演題で一橋大学名誉教授で九条の会事務局メンバーの渡辺治氏が講演を行いました。講演の要旨は次の通りです。



に替わる平和構築の方向性や、構造改革や利益誘導型政治でない新しい福祉国家の構想を、民主勢力がきちんと国民に示すことが緊急に必要である。

## 第2回雑賀9条まつり



10月17日(日)午後、第2回雑賀9条まつりが高津公園で開催され秋晴れの好天にめぐまれ360人の人出でにぎわいました。中央舞台では、和歌山市9条センターの深谷登事務所長によりミニ講演が行われました。

講演の中で、最近の世論調査では、改憲賛成が少し増えるなど、必ずしも樂觀できるような状況になっていない中、ねばり強く9条を守るための取り組みを強める必要性が強調されました。また、民主党政権が「地域主



権改革」の名で従来、国で決めていた医療や福祉の基準を取り払い、国の責任を放棄し自治体レベルで、構造改革を推し進めようとしていることを指摘。9条とともに25条も重視しよう」と訴えました。会場ではこの他、腹話術、南京玉すだれ、ハワイアンフラ、健康体操、フリーマーケット、たべものコーナー、戦争パネル、健康コーナー、知恵の輪、折り紙、紙トンボ、浮き洗み金魚などの遊びコーナーなど多彩な催しが行われました。

## 9条持つ日本に米軍基地は要らない



10月19日「憲法九条を守るわかやま県民の会」と和歌山市9条センターは11時からJR和歌山前で9日宣伝署名行動を行いました。10月9日が雨天で延期になって19日になったものです。3人がマイク宣伝に立ち、それぞれ「憲法九条を持つ日本に米軍基地は要らない。普天間基地の海兵隊は他国へ派兵される殴り込み部隊。無条件撤去意外に解決はありません。」「民主党政権すめようとしている比例定数削減は少数政党を排除し国民の願いを削るもの。9条改憲への道につながる危険なうそを許してはいけません」と訴えました。この日は、5人の参加で署名23筆が集まりました。参加者は、人数が少ない割にはたくさん署名が集まったと感想を述べていました。

## 「街頭宣伝の自由を守る会」

### 結成総会開かれる

10月20日の夜、和歌山市のプラザホールで「街頭宣伝の自由を守る会」の結成総会が開かれました。警察署長が街宣車の道路使用許可条件に「道路において駐車または停車して放送をしないこと」をつけ、昨年7月頃からJR和歌山駅前での街宣車によるマイク宣伝を中止させる事態があいついだ事を受け結成されたものです。

会の結成呼びかけ人の一人である赤木俊之弁護士は、開会挨拶で「憲法には表現の自由が保障されている。ものが言えない戦前のような社会にさせてはいけません。」と訴えました。講演した国民救援会中央本部の伊藤カズミ副会長は